

2010 年 2 月 24 日

## 第 5 回「児童教育実践についての研究助成事業」 (旧「ことばと教育 研究助成事業」) 助成対象決定

財団法人博報児童教育振興会(理事長 近藤道生)は、第 5 回「児童教育実践についての研究助成事業」の助成対象を決定し、本日発表しましたのでお知らせいたします。

### ◆ 当事業の目的

当事業は、新しい視点を持つ教育実践者および研究者による研究を支援し、それらの研究成果を、小・中学生を中心とする児童教育の実践に反映することにより、教育基盤充実をはかることを目的としています。

### ◆ 審査結果

審査委員会による厳正な審査の結果、応募総数 84 件のうち、合計 9 件の研究を助成対象として選出しました。(別紙ご参照)

A 児童教育の基盤となることばの教育に関する研究の部	5 件
B 児童教育実践の質を向上させる研究の部	4 件

### ◆ 今後の予定

研究助成は 2010 年 4 月 1 日～2011 年 3 月 31 日の 1 年間行い、終了後、研究成果報告書を提出していただきます。とくに優秀な成果をあげた研究には、優秀賞を贈呈します(若干名に対し、副賞金 30 万円贈呈)。

(財)博報児童教育振興会は、次代を担う児童の豊かな人間性の育成を支援することを目的として、文部省(当時)認可の財団法人として 1970 年に設立されました。

当財団では、児童教育の要は「ことばの教育」にあると考え、児童教育の実践者を顕彰する「博報賞」、「児童教育実践についての研究助成事業」、「日本語海外研究者招聘事業」、「世界のこども日本語ネットワーク推進事業」など、「ことば」「文化」「教育」の領域を中心に児童教育支援につながる活動をしています。

また、これらの事業から生まれた成果を広めるために、イベントの実施や、通信誌の発刊などの広報活動をしています。

◇ 公式ホームページ <http://www.hakuhodo.co.jp/foundation/> ◇

### ■ 本件に関するお問い合わせ先:

財団法人 博報児童教育振興会  
研究助成事業事務局 内藤  
TEL. 03-5570-5008 / FAX. 03-5570-5016  
E-mail. hakuho.foundation@hakuhodo.co.jp

## 第5回「児童教育実践についての研究助成事業」

(旧「ことばと教育 研究助成事業」)

### 助成対象一覧

#### 【児童教育の基盤となることばの教育に関する研究の部】5件

研究タイトル(※はグループ研究)	助成対象研究(代表)者 (五十音順)
発達性読み書き障害への障害特性に応じた読み支援法の開発 ※	奥村 智人(おくむら ともひと) 大阪医科大学 LDセンター: 技術職員
「使いこなす英語力」の土台構築 —基本動詞・定型表現習得と指導—	國分 有穂(こくぶん ゆほ) お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科: 大学院生
外国人児童に対する教科学習用教材作成のための基礎的研究 ※	志村 ゆかり(しむら ゆかり) 一橋大学 国際教育センター: 非常勤講師
母語話者のための「リスニング」教材の開発と方法論の確立	半田 淳子(はんだ あつこ) 国際基督教大学 教養学部: 准教授
教室内発話に特有な学習言語の研究 —「授業分析シート」を用いて—	森 篤嗣(もり あつし) 国立国語研究所 理論・構造研究系: 助教

#### 【児童教育実践の質を向上させる研究の部】4件

研究タイトル(※はグループ研究)	助成対象研究(代表)者 (五十音順)
高等専門学校生の能力適性と学習観に関する研究 ※	小澤 昌之(おざわ まさゆき) 慶應義塾大学大学院 社会学研究科: 大学院生
「昔」の新聞の授業内活用法を探る —実践研究と教材開発の試み— ※	佐藤 有紀(さとう ゆき) 明治大学 国際日本学部: 特任講師
自然事象をことばで読み解く力の育成に関する実践的研究 —対話や発表を用いた理科授業— ※	鈴木 一成(すずき いっせい) 東京学芸大学附属竹早中学校: 教諭
理科教育における言語力育成のための指導デザインの開発 ※	寺本 貴啓(てらもと たかひろ) 広島大学大学院 教育学研究科: 大学院生